

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第17号

2015/4/17発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島

特集 平成27年度教育費当初予算について

平成26年度 宮古島市教育の日
宮古島市の教育を語る市民大会
主催 宮古島市教育委員会 共催 宮古島市 宮古教育事務所



CONTENTS

- 教育研究所「研究成果報告会」
- Topics
マティダライブ7
小中一貫校教育講演会
- わだいの広場
宮古島市の教育を語る市民大会



連載

パニパニ☆スクール

伊良部中学校「教育講演会」
宮原小学校「閉校式」
鏡原小学校・宮原小学校「統合式」

特集

文化財を巡る番外編

アラフ遺跡出土資料移管について





特集

～個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島づくり～ 平成27年度 教育費当初予算について

宮古島市全体における平成27年度一般会計予算は、前年度より6.6%減の343億3千万円となりました。そのうち、教育費は全体の7.9%を占める27億2,398万円となっており、3億6,700万円の減ですが、これは主に小学校校舎改築事業、幼稚園園舎改築事業の減によるものです。

平成27年度予算は、狩俣小学校屋内運動場改築事業、魅力ある学校づくり推進事業補助金、預かり保育事業や学力向上対策費などの教育関連予算、大和井土地買上事業、文化ホール音響設備改修費等、生涯学習関連予算が計上されております。

本市教育委員会では、これまでの事業に加え、さらに充実した教育行政を展開していきます。



宮古島市一般会計 当初予算額
343億3,000万円
(前年度比△6.6%)

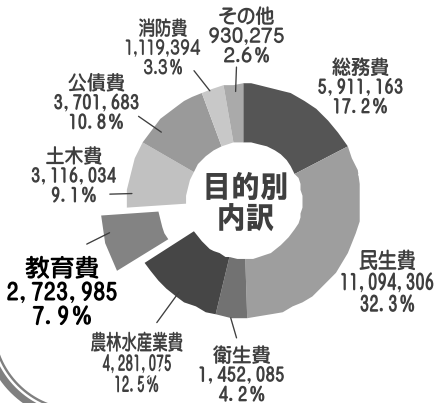
そのうち教育費は…

27億2,398万円
(前年度比△11.9%)

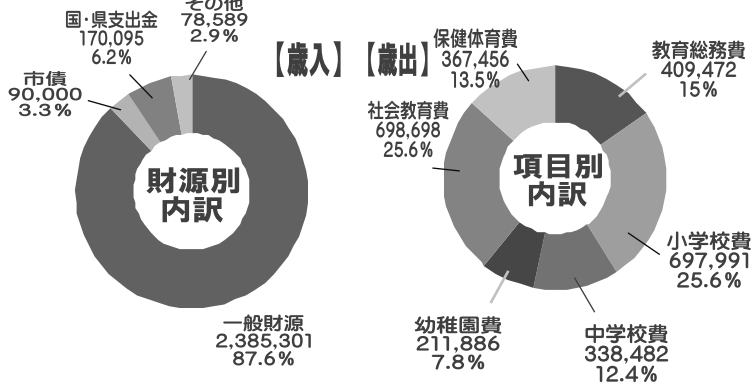
教育部 18億9,974万円(前年度比△17.9%)
生涯学習部 8億2,424万円(前年度比6%)

宮古島市一般会計予算(歳出)及び教育費予算分類

宮古島市一般会計予算(歳出)



教育費予算分類



教育長 新年度あいさつ

教育委員会は、昨年より教育課題を五つあげ、その実現に向けて取り組みを強化して参りました。

皆様のご理解を得て着実にその成果を挙げる事が出来ました。

昨年度は課題の一番目に掲げた「学力向上」で、宮古島市の小学生は全国学力テストに於いて全国最下位から全国24位に躍進する快挙を成し遂げました。中学生も平成29年度までに全国との差を6ポイント以内にするという目標を着実に進めており、すでに目標を超えている教科もあります。市長肝いりの「魅力ある学校づくり予算」の効果が確実に現れています。市民の皆様は、現場の先生方の頑張りを高く評価して下さい。

子育て支援については、午後の預かり保育を行う体制を整えました。今年度から全幼稚園児を対象に預かり保育を実施します。

学校規模適正化については、宮原小学校と鏡原小学校が4月に統合しました。伊良部島の小・中一貫校「結の橋学園」の設置・建設に向け、いよいよ作業が開始されます。

歴史・文化の発掘・保存・継承は今年度もこれまでどおり丁寧に行ってまいります。

教育委員会は今年度も市民に開かれた教育行政を進めて参りますので、市民各位にはこれまで以上のご理解とご声援をお願いいたします。

教育長 宮國博

平成27年度 主な事業



1 生きる力を育てる学校教育の充実

▼ 学校施設改修事業 9,519万円

幼稚園・小学校・中学校施設等の危険箇所の修繕工事を行い、安全安心な教育環境の充実を図る。

【幼稚園】1,183万円 【小学校】5,595万円
【中学校】2,741万円

▼ 狩俣小学校屋内運動場改築事業 1億8,435万円

安全で安心な教育環境の充実を推進するため、狩俣小学校屋内運動場の改築工事を実施し、新規に整備を図る。

▼ 市立幼稚園預かり保育事業 1,623万円

幼稚園教育時間終了後、教育課程外保育を行うことにより、園児の心身の健全な発達と保護者の子育てを支援。

【利用可能園】平一、北、南、東、久松、鏡原、西辺
上野、下地、西城、池間、佐良浜

▼ 魅力ある学校づくり推進補助事業 800万円

児童・生徒の学力向上や体力向上、豊かな心を育む取り組み等を目的とする独自の事業を計画する学校を対象に補助金を交付する。

▼ 学力向上対策事業 1,354万円

確かな学力の定着、豊かな人生の育成、健康・体力の育成に係る事項について、取り組みの充実を図る。

○フューチャースクール推進事業(556万円) ○学校給食補助助費(3,354万円) ○学びの基礎力育成支援事業(157万円) ○スクールソーシャルワーカー活用事業(1,010万円) ○問題行動等学習支援者配置事業(487万円) ○選手派遣補助金交付事業(1,760万円) ○就学援助等事業(5,675万円)

○学校規模適正化対策費(561万円)

2

家庭・学校・地域社会の連携で進める 青少年健全育成の推進

▼ 生涯学習振興費 7,799万円

子どもの居場所づくりにおいて、ボランティア等を積極的に活用し、放課後子ども教室や学校支援地域本部事業を実施。

【放課後子ども教室】331万円

【学校支援地域本部事業】330万円

○みやこ少年少女合唱団補助事業(227万円)

▼ 図書館管理費 4,575万円

生涯学習の中核施設として地域資料の収集活用や地域情報の発信に努めるとともに、学校図書館との連携をより深めファミリー読書活動を促進する。

○指導者育成事業(14万円) ○成人式事業(24万円)

○生涯学習リーダーバンク事業(32万円) ○生涯学習フェスティバル事業(55万円)

3

みんなで学ぶ生涯学習 生涯スポーツの充実

4

芸術文化の振興と文化財の保護・活用の推進

▼ 宮古島市neo歴史文化ロード整備事業 2,350万円

「宮古島らしさ」に特化した文化財を中心に、伝説と民話に彩られたロマン溢れる散策コースを整備し、新たな観光資源として広く活用する。平成27年度はこれまでに構築した文化財WEB公開システムに随時新たなコース等の情報を追加。(※一括交付金活用事業)

○文化祭事業(587万円) ○市埋蔵文化財公開活用事業(579万円)
○市史編さん事業(1,259万円) ○文化振興事業(3,309万円)

▼ 文化財保護事業(あとんま墓修理) 911万円

国指定文化財の「あとんま墓」及び「知利真良豊見親墓」について、文化財建造物保存修理を行う。

- ・知利真良豊見の墓修理工事
- ・三次元写真測量業務委託

▼ 大和井土地買上事業 891万円

国指定史跡「大和井」の文化財としての価値を適切に保存するため、指定範囲内の土地の公有化を行う。

5

国際交流の推進

▼ 板倉区児童交流事業 75万円

青少年情操教育のひとつとして、歴史的に深い繋がりを持つ板倉地区児童と城辺地区児童がホームステイ交流をして、互いの地域文化に触れる。

▼ 白川町海山交流事業 62万円

青少年情操教育のひとつとして、海がない岐阜県白川町児童と、山のない下地地区児童がホームステイ交流をして、互いの地域文化に触れる。

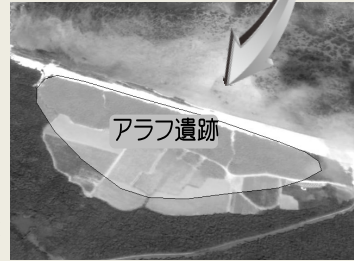
アラフ遺跡 出土資料移管について

アラフ遺跡とは……

アラフ遺跡は、城辺新城海岸に位置する、今から約2900～1900年前の遺跡です。この時代は、無土器期と言われるように、土器を用いずシャコガイを素材とした斧（貝斧）が多く出土することが一番の特徴になります。

この無土器期は、日本の歴史の中でも宮古・八重山諸島にしか確認されておらず、非常に地域性の高い文化として注目されており、アラフ遺跡はこの無土器期を代表する遺跡です。

江上幹幸氏（沖縄国際大学教授）を中心とする発掘調査団は、2000年から2006年にかけて8次にわたる発掘調査を実施しております。この発掘調査によって、当時の人々の生活の痕跡や多くの道具が出土しています。



城辺新城海岸

文化財を巡る
番外編

出土資料移管について

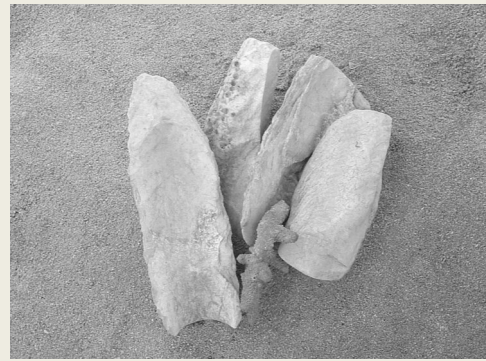
今回、国内でも非常に歴史的価値の高いアラフ遺跡の出土遺物資料が、沖縄国際大学から宮古島市教育委員会に移管されることとなりました。これは、資料を地域で広く活用することを一番の目的としております。移管資料は、1万点以上に及び、遺跡の図面資料や写真資料なども含めると膨大な量になります。宮古島市教育委員会では、沖縄国際大学からこれらの資料をコンテナに詰め替えて運び出し、宮古島市教育委員会の文化財資料室へ運び入れました。現在、これらの資料を広く活用するためのコンテナ台帳の整理を行っています。この台帳整理をすることで、市民及び県内外の研究者が資料を検索することができるものとなっています。

アラフ遺跡の代表的な資料としては、前にも述べたシャコガイを素材とした貝斧があります。一口に貝斧といっても、使用する部位や、使用方法によっていくつもの種類がみられます。アラフ遺跡では、異なる使用方法の貝斧がセットで埋められている跡が発見されています。これは世界でもアラフ遺跡にのみみられる重要な発見となりました。その他には、イタチザメの歯に穴を穿孔した製品や、イモガイやクモガイを用いた道具など、当時の人々が貝や骨を利用して様々な道具を作っていたことがみてとれます。

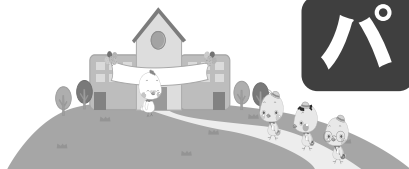
↓発掘作業の様子



↓シャコ貝素材の貝斧



これらの資料が宮古島市教育委員会に移管されたことで、私たち宮古島の歴史を考える大きな資料を得ることができました。宮古島市教育委員会では、アラフ遺跡の資料も含め、現在「公開活用事業」として、これまでの出土遺物についても再整理を行い、遺物の台帳の整理を行っているところです。これらの活動を通して広く遺跡の情報発信を行っていくことができればと考えています。



ニパニ☆スクール

市内小中学校で児童・生徒が元気に取り組んでいる様々なユニークな活動や取組を紹介するコーナーです。今回は伊良部中、宮原小、鏡原小をご紹介します。

伊良部中学校 教育講演会 ～夢をあきらめない～

伊良部中学校では、「心の教育」を学校経営の大きな柱とし、道徳授業の充実はもちろんのこと、校長講話も全て「心の教育」に関する講話にし、徹底的に取り組んでいます。特に校長講話は、一年間を見通し、学校行事との関連も踏まえながら、パラリンピックの動画を見せるなどの指導を重ねてきました。

そして、一年間のまとめとして今回の講演会では、事故で両足を切断し、記憶障害はあるにもかかわらず社長として会社を経営したり、富士山に登ったり、1300Kmも自転車で行ったり、海外のフルマラソンを完走している義足のランナーこと島袋勉さん((株)ラシーマ代表取締役社長)を講師に招き、「夢を持つことの素晴らしさ」や、「決してあきらめないことの大切さ」についてを自分自身のこれまでの体験をとおして語っていただきました。

講話を終えて生徒達は、「感動した！とにかく感動した」や「心の強い人だと思った。僕も頑張りたいと思った」などの前向きな感想が多く聞かれ、1年間をとおして行ってきた「心の教育」のまとめにふさわしい講話となりました。



宮原小学校 閉校式 ～58年の歴史に幕～

平成27年3月28日に宮原小学校閉校式が行われ、3月31日をもって58年の歴史に幕を閉じることになりました。

閉校式では12名の児童が一人ずつ宮原小学校での思い出、先生や地域の方への感謝の言葉、4月から通う鏡原小学校での新しい気持ちを堂々と挨拶していました。

式典に参加した全員で心を一つにした校歌斉唱は素晴らしいもので、涙を誘うものでした。

宮原小学校は閉校しますがこれからも「みやはらっこ」精神を忘れずに鏡原小学校で新しい思い出を作っていくことと期待がふくらみます。そして新年度からは、これまでも増して宮原の子どもたちを温かく見守り応援して下さいようにお願いいたします。

宮原小学校ありがとうございました。



鏡原小学校 宮原小学校 統合式 ～新生鏡原小学校誕生～

平成27年4月6日鏡原小学校において、鏡原小学校・宮原小学校統合式が晴れやかに行われました。宮原小学校からの8名のお友達が元気よく入場し式典が始まりました。

国仲校長先生、宮國博教育長、鏡原小学校児童代表の狩俣結有さんによる歓迎のあいさつがあり、児童みんなの笑顔で迎えられ、宮原小学校からの児童も安心した様子でした。

宮原小学校からの児童も一人一人自己紹介をし、緊張していましたが、はっきりとした口調で元気よく話をしていました。また、8名の児童に体育着の贈呈があり、新しい体育着に袖を通すのが待ち遠しそうな様子でした。

式典の最後には、全校生徒による校歌斉唱があり、伸びやかな歌声が体育館に響き渡りました。

宮原小学校は去った3月31日に58年の歴史に幕をとじましたが、これからは、鏡原小学校と1つになり新たな歴史と伝統が始まります。新生鏡原小学校の1ページにふさわしい統合式となりました。



平成27年度子ども博物館講座 閉講式

宮古島市総合博物館では、今年度全6回にわたって「子ども博物館講座」が行われました。「宮古の歴史・文化・自然・環境等に関する体験学習を行い、郷土に対する認識を深めること」を趣旨に、今年度は30名の児童が会員として受講しております。

2月1日(日)は今年度最後の講座「宮古の水を考える～地下ダム見学をしてみよう～」と閉講式が実施されました。会員11名が参加し、地下ダムの集中管理所、仲尾峰ファームポンドを土地改良区員の新里さんが子ども達に分かりやすく説明してくれました。

子ども達は「地下ダムがどのように管理されているのか分かった。」「貯められている水の量がすごかった。」など、様々な感想が寄せられ、なかでも「水を無駄遣いしない、大切にしようと思う。」との感想が多く寄せられていました。

子ども達はめったに見られない地下ダムの集中管理所、仲尾峰ファームポンドの見学をとおして宮古の水、地下ダムについて理解を深めることが出来たと思います。

見学後、閉講式も行われ、子ども博物館の終了授与、皆勤賞授与、写真撮影等を行いました。全6回の講座をとおして、「宮古の歴史や自然、文化に触れることができ、普段出来ない体験が出来て良かった」「友達ができた」「また参加したい」などの感想がありました。

子ども博物館をとおして、さらに宮古島の歴史・文化・自然・環境等に関する認識を深めてもらうよう、今後も実施していきたいと思えます。



第14期教育研究員 適応指導教室(まていだ教室) 研究成果報告会

3月12日(木)市中央公民館にて、平成26年度後期(第14期)研究教員と適応指導教室(まていだ教室)による研究成果報告会が行われ、3人の教諭が取り組んだ実践事例と適応指導と研究成果を報告しました。

始めに、まていだ教室の濱川貴美子教諭の実践報告では不登校児が自己肯定感を高められるような取り組みや各関係機関との連携についての事例報告がなされました。

次に、小学校の部においては、大庭優子教諭(下地小所属)が、国語指導において、低学年における国語辞典の活用を図り、語彙力を高められたという研究報告がありました。

最後に、中学校の部では、砂川恵教諭(平良中所属)が道徳的価値の自覚を深めるためにユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業づくりについて研究し、道徳が好きになる生徒が増加したなどと研究の成果を報告しました。

質疑では琉球大学の緒方教授と2人の講師がお見えになり「内容が充実してきて研究の質が高まってきた。」などと感想を述べられていました。

教育研究所

研究テーマ

▼濱川 貴美子教諭

「自己肯定感を育む支援の在り方」
～個に応じた支援の工夫を通して～

▼大庭 優子教諭

「語彙力を高める学習指導の工夫」
～低学年から国語辞典に慣れ親しむ活動を通して～

▼砂川 恵教諭

「道徳的価値の自覚を深める授業展開の工夫」
～ユニバーサルデザインの発想を取り入れた授業づくりをとおして～

検証授業と実践報告



濱川貴美子教諭



大庭優子教諭(下地小学校)



砂川恵教諭(平良中学校)

TOPICS

第28回企画展『クバものがたり』

市総合博物館では、2月13日(金)～3月10日(火)までの期間、第28回企画展「クバものがたり」を開催しました。

今回の企画展では、沖縄の人々に関わりの深い植物である「クバ」をテーマにバスケットアーティストの小川京子さんの協力のもと会場全体に小川さんのクバアートを展示しながら、植物・民俗・歴史・アートの4つの分野でクバについて紹介しました。

期間中は、小学校の見学が多くあり、子ども達は初めて見るクバの民具やアート作品に「これがクバで作られているのか」と驚きの表情を見せながら、クバの魅力に引き込まれている様子でした。



～宮古島の高校生たちがパワー全開ライブ！！～

マティダ市民劇場自主文化事業『マティダライブ』開催

出演者・ボランティア総勢約100人の高校生による「マティダライブ7」が2月22日にマティダ市民劇場で開催されました。今年で7回目を迎えるこのイベントは年々認知度が高まり、今年は、ほぼ満席の盛況ライブとなりました。

高校生が自主的に運営するこの事業は、今回「轟(とどろき)」をテーマに行われ、今年も若いパワーが炸裂しました。

「共に創造する喜び・共に感じる連帯感と達成感」をキーワードに、実行委員会は昨年5月から活動を開始。10回以上にわたる運営会議、ポスターや手書き横断幕の製作、選考オーディション、当日の裏方などをこなしました。

バンド演奏やダンスでエネルギーに自己を表現し、最後は、メンバーお互いに喜び合い、涙のフィナーレとなりました。

舞台を終えた後のメンバー達の表情は「連帯感と達成感」に満ちあふれ、キラキラと輝いて見えました。

卒業するメンバーは「年々、パフォーマンスの質が

上がってきていると思う。全力で挑戦できて最高の気分。今後の後輩の活躍に期待します。」と高揚した表情でコメントし、1・2年生は、「先輩達に続き、来年のマティダライブ8を更に盛り上げるため頑張ろう。」と、互いに声をかけあい決意を新たにしていました。

また、今回は、「劇場にお世話になったお礼の気持ちを表したい。」として、後日、ライブ出演者・ボランティアのメンバーが、マティダ市民劇場の周辺や港湾地区で清掃活動を行いました。



小中一貫校教育講演会 ～小中一貫教育学校「とどろみの森学園」の実践から～

3月21日(土)に、大阪箕面市立小中一貫校教育先進校「とどろみの森学園」の陸奥田維彦教頭先生をお招きして「9年間の連続した学びで子どもを育む小中一貫教育の実践」をテーマに小中一貫教育についての講演会を伊良部公民館で開催しました。

講演会では、「なぜ今、小中一貫校なのか」現代の子ども達の実態を踏まえ、小中一貫教育の必要性や成果等について、各種データや「とどろみの森学園」の実践から、わかりやすく楽しく講話していただきました。

講演後は、宮古島市で初めての取り組みとなる施設

一体型小中一貫教育学校「結の橋学園」の開校を期待する市民の多くの声を聞くことができました。

これからも、子ども達の「確かな学び」と「豊かな育ち」のため、地域・保護者・学校と連携しながら、小中一貫教育学校「結の橋学園」の開校に向けて取り組んでいきます。



平成26年度宮古島の教育を語る市民大会

宮古島の教育を語る市民大会が2月15(日)にマティダ市民劇場で行われました。

東小学校マーチングバンドや北中学校演劇部がオープニングを飾り、模範児童生徒の表彰やお話発表、実践報告では「オール宮古」で取り組んでいる学力向上の成果と課題が示されました。

宮古島出身の末広尚希氏による「島育ちの教育論～だから自分をあきらめるな～」と題した基調講演、高校生や大学生による「夢実現」をテーマに公開フリートークが行われ、高校生は進路や将来のことについてのアドバイスを受け、大学生は進学前・進学後の考え方が変わったことなどを紹介しました。

公開フリートークの様子



基調講演を行う末広尚希氏



平成26年度教育委員会の開催状況

第10回教育委員会定例会(1月27日)、第11回定例会(2月26日)第8回臨時会(2月4日)、第9回臨時会(2月24日)が開催されました。

第10回定例会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律」の施行に伴う関係条例の改正案等が提案され、3月定例議会へ提出することが確認されました。第11回定例会では、委員長の任期満了に伴う選挙等が行われ、佐平博昭委員長が再任され「学校現場に足を運んで先生方の声を聞き、教育充実に貢献していきたい。」と抱負を述べていました。また、伊良部地区小中一貫校の設置に係る候補地の選定が行われたほか、平成27年度一般会計補正予算(教育費関連)の説明が行われました。

第8回臨時会では、「宮古島市立幼稚園保育料等徴収条例の議案提出依頼」等が提案され、法改正に伴う制度の改正が説明されました。

募集

平成27年度 宮古島市奨学生を募集します

宮古島市奨学資金貸与条例に基づいて、平成27年度宮古島市奨学生を募集します。

申込資格 市内に居住する者の子弟で、学業優秀かつ学資の支弁が困難と認められる県内・県外の大学生(短期大学含む)及び高等専門学校(4・5年課程)、専修学校の専門課程(修学年限2年以上)の学生。
※他団体との重複貸付は認められません。

募集人員 若干名
貸与額 【県内】月額2万円 【県外】月額3万円
※毎月・半年払いのいずれかを選択

貸与期間 当該学校における正規の終業期間

受付期間 平成27年5月11日(月)～5月26日(火)

【申込み・問い合わせ】教育総務課(城辺庁舎) ☎77-4942

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール

市総合体育館

H27.4.1 現在

4/6(日)から
5/1(金)まで 第31回トリアスロン宮古島関連
4/25(土)・26(日) 第42回バス協設立記念大会
4/30(木) スポーツ少年団入団式
5/9(土) 地区高体連夏季バドミントン大会
5/10(日) 第17回毎日新聞杯中学生卓球大会
5/16(土) 教職員バレーボール大会
5/17(日) 全日本小学生バレーボール宮古地区大会
5/24(日) 第37回総合ダブルスバドミントン大会
5/30(土) 第35回中体連夏季総体卓球競技
5/31(日) 第5回ぱにぱにラージボール大会

陸上競技場

4/6(日)から
5/1(金)まで 第31回トリアスロン宮古島関連
5/9(土) 高体連夏季総体陸上競技大会
5/10(日) 第31回小学校陸上競技大会

※施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

市民スポーツ課 ☎73-4469 (月曜休み)

4月・5月の行事予定

- 第1回子ども博物館「昔の漁法・石巻落とし漁」
4月12日(日)/市総合博物館
- 慰霊の日関連企画展「宮古の人がみた戦争」
5月29日(金)～6月30日(火)/市総合博物館
- おはなしたまてばこ・おはなし会
平良図書館/毎週土曜日(5/30休み)
城辺図書館/4月26日(日)、5月10日(日)

子育てや学校生活で悩んでいませんか?

教育研究所では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎77-4955

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月～金曜日(祝祭日除く)午前8時30分～午後4時30分

【所在地】下地字上地472-39 下地庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)